

第70回日本生物工学会大会 (2018)

会 期 2018年(平成30年)9月5日(水)～7日(金)

会 場 <一般講演・シンポジウム・ランチョンセミナー>

関西大学 千里山キャンパス (〒564-8680 吹田市山手町3-3-35)

<授賞式・受賞講演> 関西大学 千里山キャンパス 第2学舎BIG100 (1階)

<懇親会> 関西大学 千里山キャンパス 100周年記念会館

<展 示> 関西大学 千里山キャンパス 第4学舎4号館 (3階)

<若手会総会・交流会> 関西大学 千里山キャンパス 凜風館2階食堂・ディノア

大会ホームページ <https://www.sbj.or.jp/2018/>

主なスケジュール

講演申込・要旨受付期間 2018年4月 9日(月)～2018年5月 8日(火) 正午

参加登録締切日 2018年7月10日(火) 17:00

講演要旨集発行日 2018年8月 7日(火) 予定

	9月5日(水)	9月6日(木)	9月7日(金)
午前	授賞式・受賞講演	一般講演	一般講演・シンポジウム
昼	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー
午後	受賞講演 一般講演	受賞講演 一般講演	シンポジウム
夜	懇親会	若手会総会・交流会/ ものづくり交流サロン	

参加費

	大会参加費		懇親会費	
	事前	当日	事前	当日
正会員	10,000円	12,000円	10,000円	12,000円
学生会員	6,000円	8,000円	5,000円	6,000円
非会員	14,000円	16,000円	12,000円	14,000円

(消費税を含む。ただし、正会員・学生会員の参加費は不課税。大会参加費は講演要旨集代を含む。)

参加申込 大会HPの参加申込画面 (<https://www.sbj.or.jp/2018/registration/>)にて登録をお願いします。お支払いは①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込(手数料自己負担)が選択できます。

懇親会 2018年9月5日(水) 関西大学 千里山キャンパス 100周年記念会館

予定開催時間 18:00～20:00

ランチョンセミナー 2018年9月5日(水)・6日(木)・7日(金)の昼休憩時を利用して開催します。詳細および参加申込は後日大会HPに掲載します。

大会中託児について 大会期間中の9月5日(水)・6日(木)・7日(金)には、会場内に託児ルームを開設します。詳細は大会HPをご覧ください。

各種会議 大会期間中に会議を開催予定の方は、規模に応じて会議室を無料で確保いたしますので下記までお問い合わせください。ただし、会場に限りがありますことをご了承ください。

<申込締切日> 8月1日(水)

<問合せ先> E-mail: azuma@bioa.eng.osaka-cu.ac.jp

大会実行委員会事務局 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科内 日本生物工学会2018年度大会実行委員会

<問合せ先> 実行委員会総務担当 関西大学 岩木 宏明

E-mail: sbj2018adm@cm.kansai-u.ac.jp

シンポジウム課題およびオーガナイザー

著者などの詳細は後日大会 HP に掲載しますのでご覧下さい。

1. **資源作物生産から発酵生産までをトータルシステムとして俯瞰する**
酒井謙二 (九大)・青柳秀紀 (筑波大)・伊藤幸博 (東北大)
2. **糖鎖工学技術がもたらすバイオ医薬品の新潮流**
三崎 亮 (阪大)・加藤紀彦 (京大)・千葉靖典 (産総研)
3. **工学が見出すエッセンシャル細胞培養～動物細胞培養の根本に工学はどう立ち向かうか～【本部企画】**
河原正浩 (東大)・加藤竜司 (名大)・児島宏之 (味の素)
4. **Bioengineering for Sustainable Agriculture and Food Production for the Future 「新しい農業と未来の食料のための生物工学」《国際シンポジウム》【本部企画】**
今井泰彦 (キッコーマン)
※シンポジウムに先立ちKSBB招待講演 [Prof. Si Wouk Kim (Chosun Univ.)]
5. **発酵食品の機能性を考える～一次機能から三次機能まで【本部企画】**
高瀬良和 (霧島酒造)
6. **構造と機能デザインによる有用人工酵素の創製と応用展開**
大島敏久 (大工大)
※シンポジウムに先立ちKSBB招待講演 [Prof. Seung Pil Park (Korea Univ.)]
7. **スマートバイオデザイン：ナノからマクロスケールまでの様々な階層レベルにおけるバイオ関連機能と構造の合理的創出を目指して**
新井亮一 (信州大)・梅津光央 (東北大)・座古 保 (愛媛大)
※シンポジウムに先立ちKSBB招待講演 [Prof. Jong Wook Hong (Hanyang Univ.)]
8. **タンパク質と材料界面の相互作用の本質に迫る**
堀 克敏 (名大)・黒田章夫 (広島大)・神谷典穂 (九大)・梅津光央 (東北大)
※シンポジウムに先立ちKSBB招待講演 [Prof. Jeong Hyun Seo (Yeungnam Univ.)]
9. **真核微生物におけるシグナル伝達と代謝の接点を探る—発酵調節の根源的な理解に向けて—**
渡辺大輔 (奈良先端大)・水沼正樹 (広島大)
10. **エネルギーを使う、捨てる光合成の再最適化—光合成生物学にむけた未踏研究—**
魚住信之 (東北大)・清水 浩 (阪大)
11. **半金属元素のバイオテクノロジー**
山下光雄 (芝浦工大)・池 道彦 (阪大)
12. **黒麹菌・白麹菌の研究からつなげる産業振興**
外山博英 (琉球大)・塚原正俊 (バイオジェット)
13. **複雑組織製造に必要な基盤技術を考える—どこまで出来て、何が足りないのか?—**
長森英二 (大工大)・境 慎司 (阪大)・藤田聡史 (産総研)
14. **SDGsに資する環境共生微生物を活用したアグリバイオ工学研究の新展開**
宮本浩邦 (サーマス, 千葉大, 理研)・菊地 淳 (理研)
15. **地域から世界へ、グローバルバイオテクノロジーで創る新しい価値**
古賀雄一 (阪大)・河原崎泰昌 (静岡県大)・仲嶋 翼 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
16. **環境は持続可能か?—地球規模の物質循環を生物学から考える—**
新谷政己 (静岡大)・寺田昭彦 (農工大)
17. **スマートセル開発のためのバイオ技術とデジタル技術の革新と融合 バイオ生産に資する DBTL サイクルの構築に向けて**
近藤昭彦 (神戸大)・向山正治 (日本触媒)
18. **1細胞解析に向けた刺激応答性分子ツールの創製と応用展開**
吉野知子 (農工大)・山口哲志 (東大)
19. **Networking of Researches Toward Social Implementation of Bioresources Rich in ASEAN 「ASEANにおける生物資源の社会実装を目指した研究ネットワーク」《国際シンポジウム》**
藤山和仁 (阪大)・福崎英一郎 (阪大)
20. **新時代の物質生産宿主開発の方法論：ゲノムを大規模に編集する。代謝計測から設計図を書く**
丸山潤一 (東大)・松田史生 (阪大)
21. **生物系研究者のための電気化学入門～その実験大丈夫?～**
若井 暁 (神戸大)

講演申込と要旨受付

講演申込・要旨受付期間

2018年4月9日（月）～5月8日（火）正午（締切厳守）

申込資格 一般講演の発表者は2018年会費既納の本会正会員または学生会員に限ります（1人1演題のみ）。講演申込には発表者の会員番号が必須となり、会員番号がない場合には登録できません。事前に必ず入会手続きをお願いします。会員番号は入会登録と会費の入金確認ができ次第お知らせしますが、1週間程度かかりますので早めの手続きをお願いします。入会はHP「入会案内」<https://www.sbj.or.jp/join/>よりできます。なお、会員番号が不明の場合は、事務局（info@sbj.or.jp）にお問い合わせください。

発表形式 本年度の一般講演・シンポジウムは口頭発表形式で行います。パソコンからプロジェクターへの映写としますので（音声の出力には対応していません）、発表者はパソコンをご持参ください。プロジェクターはVGA端子（ミニD-sub 15ピン）にしか対応していませんので、Macをお使いの場合など、変換ケーブルが必要な場合は必ずご自身で持参してください。講演時間は1題につき、12分（発表9分、討論2分30秒、交代時間30秒）の予定です。プレゼンテーション用のスライドのサイズ（横と縦の比）は4：3で作成してください。16：9で作成すると正しく表示できない場合があります。また、原則として、少なくとも18ポイント、できれば24ポイント以上の文字サイズの使用を推奨します。文章・図表は、緑と赤の区別の難しい人がおられることを配慮して、この色の組合せは極力避けてください。

受付期間 2018年4月9日（月）～5月8日（火）正午まで。

講演申込と要旨登録は同時に締め切ります。締切後は、理由の如何を問わず、新規申込、要旨を含む内容修正はできません。終了前はアクセスが集中し、申込できない場合がありますので、早めの申込をお願いします。

申込・要旨登録方法

以下の手順に従ってお申込ください。本大会は講演申込時点で講演要旨の登録が必要です。

- ① まず、＜参加申込＞画面で参加申込を行ってください。折り返し「参加申込番号（ID:例E0001）」と「パスワード」が送付されます。
- ② 次に、＜一般講演申込＞画面で、「参加申込番号（ID）」と「パスワード」でログインし、下記の注意事項を参考に講演要旨の登録をしてください。
- ③ 要旨の登録が完了すると、画面に「受付番号」が表示されます。受付番号は必ず記録、保存をお願いします。トラブル発生時の問い合わせに必要となります。なお、講演申込・要旨の登録システムに関して不明な点は＜株式会社ダイナコム（sbj2018@dynacom.co.jp）＞にお問い合わせください。

要旨入力画面での諸注意 ※入力の際には画面の注意事項をよくお読み下さい。

■**文字数** タイトルは、全角100文字（半角200文字）、著者名および所属略称は全角200文字（半角400文字）、要旨本文は全角770文字（半角1540文字）以内に収めてください（スペース含む）。著者名は、必ず個人名（フルネーム）を記入してください（団体名等は受け付けません）。日本語で発表する場合は、タイトル、著者名、所属略称の英語表記が必要です。入力フォームの表示に従って文字数をご確認ください。

■**所属略称** 英文・和文ともに紛らわしくない限り短い省略形とし、1) 大学院→院、2) 大学院しかない場合は院も省略（例：奈良先端大・バイオ）、3) センター→セ、4) 研究所→研、5) 市立、府立、県立の「立」は削除、6) 企業の場合、（株）は不要、7) Graduate School of Biotechnology→Grad. Sch. Biotechnol.、8) 通称がある場合は使用（例：ICBiotech.）。

■**分類コード** 第1、第2希望ともに選択してください。どうしても第2希望で該当するものがない場合には、第1希望と同じものを選択してください。

■**キーワード** キーワード欄の横ボタンで一覧表が表示されますので選択してください。一覧表にない場合は、手

動で入力ください。途中に空欄を作らないように上から順番に英語で、1つは必須で4つまで可能です。

■大会トピックス公開の希望 本会では、年次大会を優れた研究成果や産学官の会員の貴重なシーズの公開の場と位置づけ、将来性や実用化が期待される講演発表についてマスコミ等の報道により研究成果やシーズを広く公開していく方針です。シーズ等公開の希望、取材対応の可否、アピール点をご申告ください。「大会トピックス公開の希望」でYesに付けられた発表から、実行委員会において30題程度のトピックスを選定し、全国TLO、バイオビジネスシーズに関心のある団体等に公表する予定です。大会トピックスに選定された演題については、以下の対応を行っていただくことになります。

- ・大会実行委員の選定による「トピックス集」への原稿作成
- ・本会大会前に実施する記者発表会における研究内容の公開
- ・新聞社等のマスコミからの問合せや取材への対応

また、大会トピックスの中から複数の演題を「トピックス賞」として選定し、大会実行委員長名で表彰します。

■備考（通信欄） 発表者が20人を超える場合や氏名の漢字など、印刷時の希望事項などをお書きください。文字数は全角200文字以内でお願いします。なお、最終的には大会実行委員会の判断で、ご希望に沿えない場合がありますのでご了承下さい。

分類コード

技 術 分 野		対 象	
分 野	第1希望, 第2希望の選択項目		
遺伝学, 分子生物学 および遺伝子工学	1 分類, 系統, 遺伝学 2 遺伝子工学	原核微生物 真核微生物	システムバイオロジー ナノバイオテクノロジー
酵素学, タンパク質工学 および酵素工学	3 酵素学, 酵素工学 4 タンパク質工学 5 抗体工学	酵母 糸状菌 アーキア	マイクロアレイ ゲノミクス プロテオミクス
代謝生理学・発酵生産	6 発酵生理学, 発酵工学 7 代謝工学 8 オミクス解析	特殊環境微生物 光合成微生物 藻類	メタボロミクス ケミカルバイオロジー バイオイメージング
醸造・食品工学	9 醸造学, 醸造工学 10 食品科学, 食品工学	植物細胞 動物細胞	PCR 分子育種
環境バイオテクノロジー	11 環境浄化, 修復, 保全技術 12 環境工学, 廃水処理技術 13 バイオマス, 資源, エネルギー工学	植物 動物 有機酸	情報伝達 培養制御 固定化
生物化学工学	14 生物化学工学 15 培養工学 16 バイオプロセス	乳酸 脂質	分離, 精製
植物バイオテクノロジー	17 植物細胞工学, 組織培養, 育種工学	糖, 糖鎖 核酸, ゲノム プラスミド, ファージ	組織培養 組織, 器官 医薬, 医薬品
動物バイオテクノロジー	18 生体医用工学 19 セル&ティッシュエンジニアリング	RNA, RNAi 生理活性物質	食品 免疫
バイオ情報工学	20 生体情報工学, バイオインフォマティクス 21 システムバイオロジー	抗生物質 アミノ酸	生態工学 CO ₂
分析計測化学	22 バイオセンシング, 分析化学 23 センサー, 計測工学	ペプチド 生体高分子 タンパク質	H ₂ エタノール
生体関連化学	24 生合成, 天然物化学 25 有機化学, 高分子化学	抗体 酵素: 糖質関連 酵素: ペプチド・ アミノ酸関連 酵素: 脂質関連 酵素: その他	難分解物質 生分解物質 廃棄物 水 土壌 その他

参加費支払い方法

大会参加費のお支払いは、①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込（手数料自己負担）から選べます。手順は以下の通りです。

- 1) 参加申込画面にて登録を行い、支払い方法を選択してください。会員番号は会誌送付ラベルをご参照ください。
- 2) 参加申込番号とパスワードが記載された確認メールが届きます。
- 3) カード決済とコンビニ決済は、確認メールに記載のURLから決済画面に進み、参加申込番号とパスワードでログインしてください。銀行振込を選択された方は、メールに記載された口座にお振り込みください。

※振込票は送付されません。

※懇親会参加のみ、要旨集のみの申込も参加申込画面にて受け付けます（要旨集の発送は大会終了後となります）。

【領収証等について】

※参加章（懇親会に参加される場合は、懇親会参加章も）および領収証は、参加費の入金確認後、8月7日（火）以降に要旨集に同封でお送りいたします。

※紛失等による領収証の再発行はいたしません。